

異樹種集成材 @ woodist

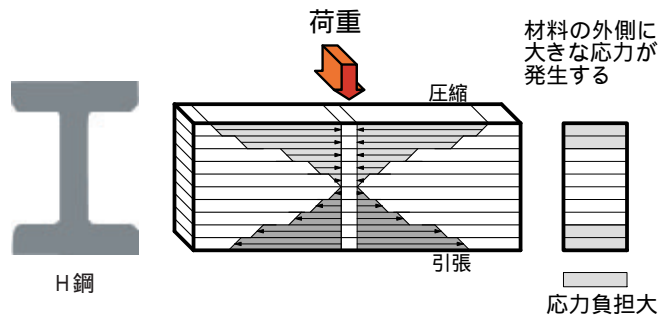
異樹種集成材とは？

異樹種集成材とは、最も応力の負担が係る外層に強度性能の高いベイマツを応力負担の低い内層にスギを用いた集成材です。スギのみでは得られない強度性能の高い集成材を構成することが出来ます。スギの間伐材及び曲がり材といった構造用としては使用しにくい材料を有効に活用し、強度性能及び価格面についても市場に流通している輸入材と対抗できる集成材です。この異樹種集成材は平成14年7月29日、日本で初めてJAS認可を取得しました。



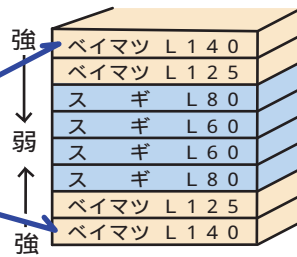
スギとベイマツによる異樹種集成材

一般に流通している構造用集成材は、(管柱等を別にして)外側に応力が係ります。これは鉄骨のH鋼と同じ原理で外側に意図的に強度の強い材料を配置するのです。

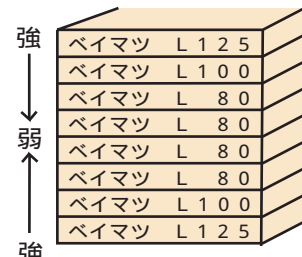


より強い木材で
サンドイッチ

1. 異樹種集成材 (E105 - F300)



2. ベイマツ集成材 (E105 - F300)



L140とはラミナの曲げヤング係数が140 (10³ kgf/cm²) に適合した板です

異樹種集成材 E105-F300のラミナ構成例

5層	6層	8層	10層
L140	L140	L140	L140
L80	L80	L125	L125
L60	L60	L80	L80
L80	L60	L60	L60
L140	L80	L60	L60
	L140	L80	L60
		L125	L80
		L140	L125
			L140

スギ
 ベイマツ